

わたち

令和2年11月6日 第29号

文化的行事を 来年につなぐ！

新型コロナウイルス。いっこうにその感染の勢いは止まらず、学校教育にも大きな影響を与えています。

お知らせしていますように、学習成果発表会を中止とせざるをえません。しかし、子供たちの学びを止めないという村、そして学園の教育方針に変わりありません。そこで、先週の「全ての子供たちにDRUM TAO鑑賞」が実現されました。関係者の皆様に深く御礼申し上げます。新聞にも掲載されましたように、将来TAOで太鼓を叩く仕事をやってみたいという児童生徒もたくさんいたことでしょう。良いですね。そんな将来への展望は大歓迎です。さらに、今月は、ヒゴタイ交流として、タイ国とのオンライン交流を企画しています。子供たちが日頃学んでいる英語の力を使って、交流します。

オンラインで交流すると実際に会って、コミュニケーションをとりたいという願いにつながります。きっと両国の子供たちがオンラインを通して交流し、来年度の学びにつながっていくことでしょう。このような文化的な行事を通して、学園がめざす子供像に迫っていきます。村上 拝

学力を伸ばし、人権 感覚を磨く11月に！

「鬼滅の刃」ブームの勢いが止まりません。人気の理由はたくさんありますが、ここでは2つ挙げたいと思います。

【①努力し続け、成長する姿】

竈門炭治郎はじめ主人公たちは、強い鬼を倒すため、自らの心と技と体を鍛え続けます。一步ずつ成長し、強くなるその姿に、胸が熱くなります！

【②鬼ではなく「人」として接する心】

鬼は、鬼滅隊に切られ消滅する直前、人間だった頃を思い出します。その瞬間、炭治郎は鬼(人)の悲しい過去を感じ取り、そっと寄り添います。炭治郎の慈愛の心、清らかな心に、誰しものが胸を打たれます！

さて、暦も11月となりました。11月の学園生目標は、「**学習したことや自分の意見を伝え合おう**」です。

人は学んだことを周りに伝えることでより理解を深め、成長していきます。人権教育、道徳、各教科等の学習やテスト、部活動などから学んだことを積極的に伝え合いましょう。伝えれば伝えた分だけ、炭治郎たちのように強く、優しく、かしこく成長します！

水曜日のバス生集会では、9年生がバス内のマナーの大切さについて、自分の考えを主張しました。「炭治郎は産山学園にもいるんだな」と思った瞬間でした！ 今村 拝



共通テスト開始前、黙想する9年生

全集中の
呼吸